



令和3年8月31日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
博物館	自然係	熊澤 忍	代表 0575-28-3111 内線 322 FAX 0575-28-3110

令和3年度特別展

「今日から防災！-過去を知り、未来へ備えよう-」

を開催します

令和元年の台風15号や19号、令和2年7月豪雨、本年の県内各地での豪雨など、毎年のように全国各地で自然災害が発生し、甚大な被害が出ています。また、岐阜県には10枚以上の活断層があり、いつ地震が起きても不思議ではありません。

一方で、自然災害の発生は止められなくとも、日頃から災害に備えておくことで被害を小さくすることはできます。本特別展では、様々な自然災害の発生の仕組みや被害の状況を紹介するとともに、家庭でできる防災や災害発生時のための備えについても展示、紹介していきます。

令和3年(2021年)は、岐阜県を中心に甚大な被害をもたらした濃尾地震から130年目、また、2011年に発生した東日本大震災から10年目にあたります。節目の年となる今、いざという時のための防災、減災について考える機会とします。



歌川国利 岐阜市街大地震之図 (岐阜県博物館蔵)

記

- 1 期 間 令和3年10月8日(金)～12月12日(日) 開催日数 57日間
＜休館日＞毎週月曜日(月曜が祝休日の場合はその翌平日)
- 2 開催時間 9:00～16:30 (10月31日(土)まで)
9:30～16:30 (11月1日(日)から)
(ただし10月8日(金)は10:30開館)
※入館は16:00まで
- 3 会 場 岐阜県博物館 本館4階 特別展示室 (関市小屋名1989番地)
- 4 主な展示
第1章～いろいろな災害やその仕組みを知る～
豪雨や噴火、地震などの災害とその発生原理などについて紹介する。
 - ・雨量計(岐阜地方気象台)
 - ・千葉県香取郡神崎町剥ぎ取り標本(産業技術総合研究所 地質調査総合センター)
 - ・東北地方太平洋沖地震の際の写真や被災物(リアス・アーク美術館) など

第2章～岐阜県で起きた災害～

岐阜県で発生した災害（近年の豪雨災害、御嶽山噴火、濃尾震災）について紹介する。

- ・令和2年7月豪雨で倒木した神明大杉（大湫町コミュニティセンター） など
- ・御嶽山の噴石
- ・濃尾地震地震波形（岐阜地方気象台） など

第3章～もしもに備える～

防災についての展示。家庭でできる防災を紹介するとともに、防災グッズ（非常持ち出し袋）や大人一人に対する3日分の食料などを紹介する。

- ・豪雨における避難時の格好
- ・御嶽山の避難シェルター
- ・岐阜県活断層マップ
- ・非常持ち出し袋及びその中身
- ・備蓄品（大人一人当たりの3日分の食料） など

第4章～県や博物館の取り組み～

東日本大震災や令和2年7月豪雨における、岐阜県や博物館職員の取り組みを紹介する。

- ・陸前高田市での文化財レスキュー
- ・令和2年7月豪雨による文化財レスキューで使用した道具と作業時のタイムラプス動画 など

5 入館料 一般600（520）円、大学生300（200）円、高校生以下無料
※ただし、（ ）内は20名以上の団体料金

6 主催 岐阜県博物館、岐阜新聞社 岐阜放送

7 後援 NHK岐阜放送局、岐阜県教育委員会

8 協力 国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター
リアス・アーク美術館

9 問い合わせ 岐阜県博物館（電話番号0575-28-3111（代））

岐阜県博物館

検索 

10 その他

- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、マスク着用や手指消毒、入館時の体温チェックにご協力願います。また、館内への入館者数の制限（200名まで）を実施します。なお、新型コロナウイルスの感染状況により中止・変更とする場合には改めてお知らせします。
- ・本特別展については、コロナ禍を踏まえ、関係者に限定した少人数での開場式を10月8日に開催予定です。